

令和3年12月1日 立川市広報課
送付文書 計1枚

報道機関 各位

令和3年度文化功労者として顕彰されました

須田立雄さんが市長を表敬訪問します

立川市在住で、令和3年度の文化功労者として顕彰されました須田立雄さんが、市長を表敬訪問されます。

須田さんは、昭和10年3月生まれの86歳でいらっしゃいます。

昭和35年3月に東京医科歯科大学歯学部を卒業、昭和39年3月には同大学大学院博士課程を修了され、昭和46年に東京医科歯科大学助教授、昭和52年に昭和大学歯学部教授となりました。平成10年に紫綬褒章、平成13年に日本学士院賞を受賞されたほか、平成22年には瑞宝重光賞を授章されました。

表敬訪問日時は以下のとおりです。ぜひ、取材にお越しくくださいますようお願い申し上げます。

【訪問日時】

令和3年12月8日（水）14：00～14：30

【場所】

立川市役所2階市長室 ※2階秘書課までお越しください

【問い合わせ】

立川市総合政策部秘書課 担当：太田 勇

TEL 042—523—2111 内線2168

昭和大学名誉教授

須田 立雄

昭和10年3月31日生

略歴

- 昭和31年3月 東京大学教養学部教養学科終了
- 昭和35年3月 東京医科歯科大学歯学部卒業
- 同39年3月 東京医科歯科大学大学院歯学研究科博士課程修了
- 同39年3月 歯学博士 (東京医科歯科大学)
- 同39年4月 東京医科歯科大学歯学部助手
- 同43年2月 東京医科歯科大学講師
- 同46年5月 東京医科歯科大学助教授
- 同52年8月 昭和大学歯学部教授 (平成12年3月まで)
- 平成9年4月 昭和大学歯学部長 (同11年3月まで)
- 同9年4月 昭和大学理事 (同11年3月まで)
- 同12年4月 昭和大学名誉教授
- 同13年4月 埼玉医科大学教授 (同18年3月まで)
- 同13年4月 埼玉医科大学ゲノム医学研究センター副所長 (同18年3月まで)
- 同15年3月 パリ大学より名誉博士号を受ける (フランス)
- 同17年4月 埼玉医科大学客員研究員 (令和2年3月まで)
- 同19年12月 日本学士院会員
- 令和3年11月 文化功労者顕彰

受賞歴

| | |
|-----------|--|
| 昭和 49年 5月 | 日本ビタミン学会 奨励賞 (「活性型ビタミンDに関する研究」に対して) |
| 平成 元年 3月 | 日本骨代謝学会 学会賞 |
| 同 8年 6月 | 日本ビタミン学会 学会賞 (「ビタミンDの代謝と生理作用に関する研究」に対して) |
| 同 6年 9月 | Vitamin D Research Award (Brown 大学、米国) |
| 同 9年 9月 | ニューマン賞 (ASBMR 米国骨代謝学会、米国) |
| 同 10年 11月 | 紫綬褒章 |
| 同 12年 1月 | 朝日賞 |
| 同 12年 6月 | 生涯業績賞 (ビタミン国際会議、米国) |
| 同 13年 6月 | 日本学士院賞 (「ビタミンDと骨に関する研究」に対して) |
| 同 22年 11月 | 瑞宝重光章 (叙勲) |
| 令和 3年 11月 | 文化功労者顕彰 |

(文化功労者選定理由)

基礎歯学・生化学の分野において、我が国の骨代謝研究を黎明期から支え、ビタミンDの代謝調節やその臨床応用等に取り組み、強力な生理作用を持つ活性型ビタミンDを構造決定し、骨粗鬆症の基本的な治療薬となる合成誘導体を考案した。また、破骨細胞誘導因子ODF/RANKLを発見するなどの顕著な業績を上げ、斯学の発展に多大な貢献をした。

氏は骨代謝研究を対象に、生体のカルシウム代謝を調節する最も基本的な因子である『ビタミンD』に着目して研究を進め、強力な生理作用を持つビタミンD代謝産物である活性型ビタミンD (1 α ,25-ジヒドロキシビタミンD₃) の単離と同定に成功した。次いで、ビタミンDの代謝調節、作用のしくみ、その臨床応用に取り組み、氏の考案した活性型ビタミンの合成誘導体 (1 α -ヒドロキシビタミンD₃) は、高齢化社会への移行に伴い我が国でも激増している骨粗鬆症患者の基本的な治療薬となった。さらに、氏は活性型ビタミンDが破骨細胞誘導因子 (ODF/RANKL) を誘導すること発見し、破骨細胞形成の分子メカニズムを解明した。